

新機種紹介

機関連編集委員会

▶ 〈16〉高所作業車、エレベータ、リフトアップ工法、横引き工法および新建築生産システム

23-〈16〉-03	アイチコーポレーション 軌陸両用高所作業車 スカイマスター LK12C1FN	'23.5 発売 新機種
------------	--	-----------------

鉄道設備の保守・点検作業、工事の効率化に貢献する軌陸両用高所作業車である。

安全・快適・効率をコンセプトに開発された商品で、車両総重量 7.5 t 未満の実現により準中型自動車免許で運転可能である。より多くの人が運転出来る為、現場作業効率化に貢献する。

ブーム軽量化により、全周同一の作業範囲を確保した。特に、使用頻度の高い側方領域のアプローチエリアを拡大することで、作業効率向上に寄与する。

転車板格納アシスト装置を標準装備しており、スイッチ操作により転車板の向きが調整可能である。車両下部を確認しながらの位置調整が不要となるため、挟まれ／巻き込まれリスク低減と退線作業時間の短縮を両立する。



写真—1 アイチコーポレーション スカイマスター LK12C1FN
軌陸両用高所作業車

表—1 スカイマスター LK12C1FN の主な仕様

作業床最大地上高	(m)	12.1
最大作業半径	(m)	10.1
車両最大積載重量	(kg)	200 (ウインチ仕様の場合、150)
価格	(百万円)	67.1 (消費税込。オプション価格を含んでいません)

問合せ先：(株)アイチコーポレーション 経営企画部

〒 362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下 1152 番地の 10

23-〈16〉-05	タダノ 軌道陸上兼用車 AT-150DW	'23.10 発売 新機種
------------	----------------------------	------------------

鉄道内にある設備のメンテナンスに使用する 15 m パケット型軌道兼用車である。

旋回デッキ型軌道兼用車では、鉄道現場内に張り巡らされている各線の間をすり抜けることが困難であるため、鉄道電気工事業者やレンタル業者からパケットタイプの軌道陸上兼用車のニーズが高まっており開発に至った。

表—2 AT-150DW の主な仕様

最大地上高	(m)	15.1
最大作業半径	(m)	13.5
積載荷重	(kg) または (名)	200 または 2
軌道走行速度	(勾配 0/1,000) (km/h)	45
軌道走行時登坂能力		勾配 50/1,000
軌道走行時最小通過曲線	(m)	R=100
軌道走行時停止時車体安定	(mm)	カント 160
鉄輪駆動方式		2 輪駆動・4 輪駆動 走行モード選択式
絶縁	(MΩ)/(V)	1/500 以上
全長	(mm)	6,515
全幅	(mm)	2,200
全高	(mm)	3,385
車両重量	(kg)	7,665
最大積載量	(kg)	100
価格	(百万円)	42.3

新機種紹介

車両総重量 8t 未満のコンパクト化・4 輪駆動による登坂能力の向上により現場への移動を効率的に行える。アウトリガ張出性能に加え、揺動ロック機構によるオンレール作業性能・前オンレール＋後アウトリガ性能を実装し、多様なスタイルによる作業を可能とした。また、各性能においてカント上では自動でカント別、かつ山側／谷側性能を自動で切り替えることが可能である。

過負荷防止装置、干渉防止装置、車幅飛出し規制装置パーキングブレーキ警報装置、PTO 切り忘れ警報装置、軌陸装置未格納警報装置、ジャッキインタロック装置、ブームインタロック装置を装備し安全性の向上を図っている。



写真—2 タダノ AT-150DW 軌道陸上兼用車

問合せ先：(株)タダノ

〒761-01875 香川県高松市新田町甲 34 番地

